

川本町の概要

(1)川本町の概要

川本町(かわもとまち)は島根県のほぼ中央部に位置する人口3千900人の小さな町です。町を横断するように雄大に流れる江の川や希少種のイズモコバイモの自生地など沢山の緑に囲まれた自然豊かな町である一方で、日用品店・ドラッグストア・スーパー・商店街・病院などの利便性も良く、移り住みやすい条件の整った町といえます。さらに、この緑あふれる魅力的な町に住んでもらおうと、川本町では様々な定住支援対策に積極的に取り組んでいます。また、透き通る水と緑に囲まれた空気の中で作られた農産物は市場や『道の駅インフォメーションセンターかわもと』でも高い評価を得ており、特にエゴマ栽培は健康志向の中で生産者も増加し、川本町の特産品として様々な加工品も開発されています。



【地勢】

川本町は東西16.5km、南北13.5km、面積106.8km²で、中央を北東から南西に江の川が貫流し祖式川・三谷川・矢谷川・木谷川・玉繰川・濁川の各支流はいずれも峡谷を刻んでいる。耕地は東西に開ける高原地帯と江の川両岸に沿う平坦地の他、峡谷に沿って小団地を形成、本町の81.6%は山林が占めている。

〈関連指標〉

総世帯数	1,665	総人口	3,900
農家戸数	388	専業農家戸数	76
農家人口	1,327	農業就業人口	264
農業産出額	149百万		

2010 農林業センサスより

【気象状況】

気象は山陰特有の低温多湿型で、年間の平均気温は14℃、年間降水量は1959mm、積雪期間は12月～3月である。

【交通アクセス】

●自動車

【高速道利用の場合】

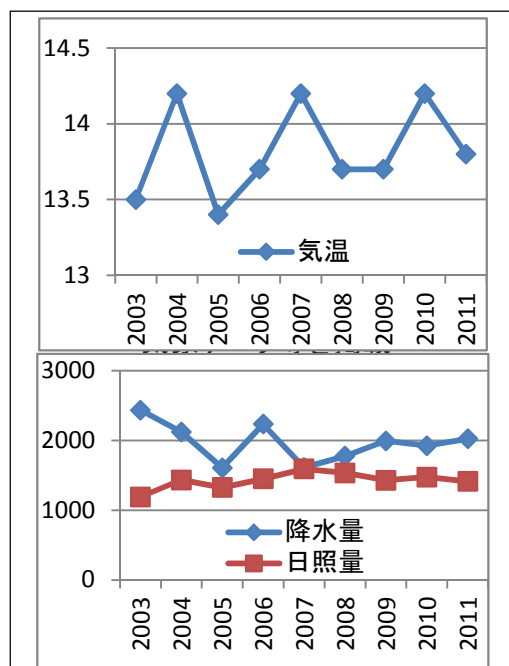
大阪から5時間・広島から1時間30分・松江から2時間・浜田から1時間20分・出雲空港から1時間40分・広島空港から2時間20分

●バス

高速バス JR広島駅から約2時間（高速バス広島～大田）

●JR

三江線(江津～三次(広島))



(2)産地、主要品目の概要

川本町では花卉研究会「しきの会」が中心となって平成2年から切り花栽培に取り組み、広島市場へ出荷しています。県内外各市場では高い評価を得ており今後の生産活動が期待されています。また、市場出荷向けに白ねぎ、なす栽培が盛んに行われています。

〔白ねぎ生産の概要〕



栽培面積	1.2ha	出荷量	11t	販売金額	278万円
出荷時期	10月～2月				
主要出荷先	広島市場				
その他	品質のよい白ねぎ栽培を目指して栽培管理指導が徹底されています。				

(生産部会の概要)



生産部会名	川本町園芸組合白ねぎ部会	部会員数	13名
主な活動・取組	反収の向上と品質のよい白ねぎ栽培を目指して、JA島根おち営農指導員による指導と技術向上研修会を実施		
部会から一言	一緒に白ねぎ栽培をしてくれる仲間を募集します。部会でも技術指導等応援します。		

〔切り花生産の概要〕



栽培面積	2ha	出荷量	3.6万本	販売金額	1,159万円
出荷時期	4月～3月				
主要出荷先	関西市場・岡山市場・広島市場及び県内市場				
その他	主な栽培品目はトルコギキョウ・スプレーストック・ヒマワリ・アスター・ケイトウが多く栽培されています。切り花栽培は品目・品種も多く、いろんな種類が選択できます。				

(生産部会の概要)



生産部会名	しきの会	部会員数	7名
主な活動・取組	切り花栽培講座の開催		
部会から一言	しきの会では新規に切り花栽培に取り組む生産者を募集しています。栽培技術は高度ですが管理を適確に行えば儲かる農業が目指せます。部会で技術指導等、積極的に応援します。		

〔なす生産の概要〕



栽培面積	0.25ha	出荷量	11t	販売金額	346万円
出荷時期	6月～10月				
主要出荷先	広島市場				
その他	野菜価格安定事業の価格補償により安定した経営が目指せます。				

(生産部会の概要)



生産部会名	川本町園芸組合	部会員数	10名
主な活動・取組	反収の向上と品質の良いなす栽培を目指して、JA島根おち営農指導員による指導と技術向上研修会を実施		
部会から一言	一緒になす栽培をしてくれる仲間を募集します。部会でも技術指導等応援します。		